

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-164944(P2005-164944A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-403364(P2003-403364)

【国際特許分類】

<b>G 10 L</b>	<b>15/28</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 10 L</b>	<b>15/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 10 L</b>	<b>13/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 10 L</b>	<b>21/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 10 L</b>	<b>15/22</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>5 7 1 H</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>3 2 0 B</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/16</b>	<b>3 3 0 K</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>5 5 1 A</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>5 5 1 Q</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>5 7 1 K</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>R</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>S</b>
<b>G 10 L</b>	<b>3/00</b>	<b>5 6 1 D</b>

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

現在の対話状態を取り込む取り込み手段と、

前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索手段と、  
前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合手段と、

前記統合手段の統合結果である動作パラメータを出力する出力手段とを備えたことを特徴とする動作パラメータ決定装置。

【請求項2】

前記統合手段は、前記検索された複数の動作パラメータが互いに矛盾しないパラメータとなるように統合することを特徴とする請求項1に記載の動作パラメータ決定装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の動作パラメータ決定装置を備えた電子装置であって、

前記出力手段から出力された動作パラメータに応じて、情報表示用の表示手段の表示内容を変更する変更手段を備えたことを特徴とする電子装置。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の動作パラメータ決定装置を備えた音声合成装置であって、

テキスト情報を取り込むテキスト取り込み手段と、

前記出力手段から得た動作パラメータと前記テキスト情報とに基づいて、合成音声を生成する音声合成手段とを有することを特徴とする音声合成装置。

#### 【請求項 5】

外部からの音声入力及び操作入力を含む入力動作を受けて外部との音声を用いた対話が可能な対話システムにおいて、

請求項 4 に記載の音声合成装置を備え、

前記動作パラメータ決定装置の前記検知手段は、検知する対話状態として、音声入力直前の状態、操作入力直前の状態、及びシステムからの音声出力を中断するための入力動作が可能な状態の少なくともいずれかを検知することを特徴とする対話システム。

#### 【請求項 6】

対話内容を記述したコンテンツデータを読み込むコンテンツ読み込み手段と、

前記コンテンツデータを解釈して、前記音声出力を含む外部との対話を管理する対話管理手段とを有することを特徴とする請求項 5 に記載の対話システム。

#### 【請求項 7】

現在の対話状態を取り込む取り込み工程と、

前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索工程と、

前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合工程と、

前記統合工程の統合結果である動作パラメータを出力する出力工程とを備えたことを特徴とする動作パラメータ決定方法。

#### 【請求項 8】

現在の対話状態を取り込む取り込みステップと、

前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索ステップと、

前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合ステップと、

前記統合ステップの統合結果である動作パラメータを出力する出力ステップとをコンピュータに実行させるための制御プログラム。

#### 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的を達成するために、請求項 1 に係る発明である動作パラメータ決定装置では、現在の対話状態を取り込む取り込み手段と、前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索手段と、前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合手段と、前記統合手段の統合結果である動作パラメータを出力する出力手段とを備えたことを特徴とする。

#### 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

請求項 7 に係る発明である動作パラメータ決定方法では、現在の対話状態を取り込む取り込み工程と、前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索工程と、前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合工程と、前記統合工程の統合結果で

ある動作パラメータを出力する出力工程とを順次実行することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項8に係る発明である制御プログラムは、現在の対話状態を取り込む取り込みステップと、前記取り込まれた対話状態に対応する複数の動作パラメータを、前記対話状態と前記動作パラメータとの対応関係を示す対応情報を参照して検索する検索ステップと、前記検索された複数の動作パラメータを統合する統合ステップと、前記統合ステップの統合結果である動作パラメータを出力する出力ステップとをコンピュータに実行させるための制御プログラムであることを特徴とする。